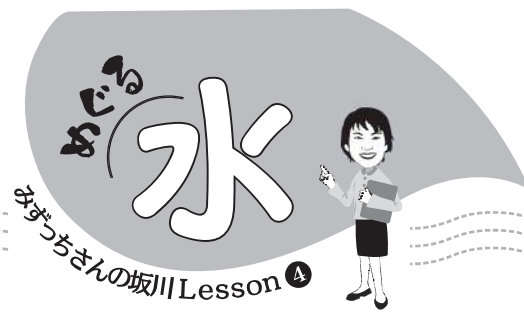


みずっちゃん●水田泰子
平成6年国土交通省関東地方整備局入省、江戸川河川事務所調査課
水質調査係長。坂川に関する出前環境講座も依頼があれば行っている。
3人の子供の母親の視点からも水について考える日々。松戸市在住。



いわゆる

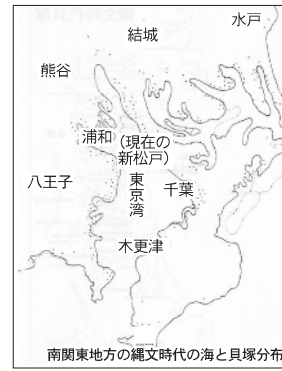
坂川の源について

今回からいよいよ坂川の「源」です。ワクワクしますね。最初に「北千葉導水路」には「治水、環境」の3つの役割があると説明しました。「治水」については触れてこなかったのですが、これから、「坂川の洪水との戦い」についてお話ししていこうと思いますが、その前にまず、坂川の成り立ちについてです。

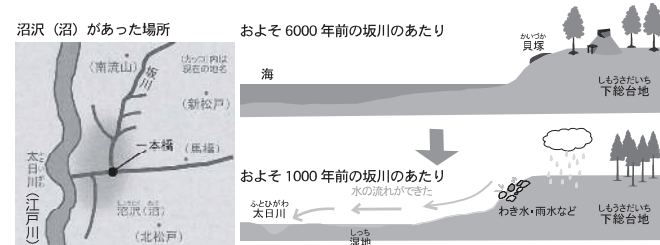
坂川のあたりは海だった

昔、昔、大昔、約6000年前の縄文時代の頃地球の気温は今より2〜3℃高かったため地球にある水が溶けていて、海面の高さが今より3mぐらいい高く、現在の坂川が流れている辺りは「海」でした。縄文海進といわれる現象ですね。

現在の坂川あたりが海だった証拠も発見されています。松戸西パークハウス（新松戸7丁目）の建設工事中にクジラの化石骨が見つかったのです。また、新松戸で行ったボーリング調査では、海に生息する種類の貝も見つかっています。縄文人は活発に漁労活動をしていました。



川だったからです。



江戸時代ぐらいいになると人々は主に農業で暮らし、水田開発が盛んになりました。坂川と江戸川で挟まれた現在の流山市、松戸市あたりの低地（下谷地区）でも、盛んに新田開発が行われました。しかし、洪水がたびたび起こるうえ、低湿地域で水はけが悪く、田畑が長い間水に浸かってしまふので作物が育たず、下谷地区の人々は困っていました。3年に1度収穫があればよいと言われるほどだったようです。人々は、水の流れを良くしようと川底を掘ったりしましたが、あまり効果はなく被害は続きました。

そこで考えたのが、新しい川を掘って江戸川のもとと下流で坂川の水を流し込むという計画です。1781年には幕府に坂川の改修を願っています。しかし、許可が出ませんでした。

そんなところに追い打ちが

1783年（天明3年）に浅間山が大噴火を起

行っていたようで、松戸市や流山市の台地では、たくさん貝塚が発見されています。

その中の一つ、幸田（こうで）貝塚（松戸市指定文化財）は、公園になっています。その公園で子どものドッチボールやソフトボールの練習があったので、私もよく行っていました。グラウンドから白い貝がザクザク出てくるので、一番下の子は貝を集めるのが好きでした。今回、少し勉強しようと幸田貝塚を調べたら、なんと！縄文前期の全国でも屈指の大型集落の跡で、竪穴式住居が161軒も発見されたそうです。

坂川が生まれるまで

話が逸れましたが、地球の気温が低くなり現在の海面の高さになると、松戸付近は海から湿地地になっていきました。そして、台地からの雨水や湧水が湿地に流れ込み、一本橋付近（現在の日本大学松戸歯学部校舎裏）で沼沢となり、太日川（現在の江戸川）に入る流れが出来たと考えられています。これが坂川の誕生です！！

しかし、坂川が「坂川」と史料に書かれるようになったのは1813年以降で、それ以前は「逆川」と書かれています。それは、普段は北に向かって流れる流れが、水が増えると逆になり南に流れる

こし、火山灰が大量に降りました。この大噴火で、利根川、江戸川にたくさん泥が流れ込んで川底が高くなり、坂川の水がますます江戸川に流れ込みにくくなってしまいました。

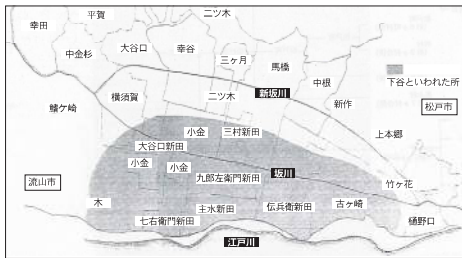
坂川流域に住む人々は、何度も幕府に坂川の掘りつぎを願いましたが、許可は下りませんでした。新しく坂川を掘る地域が幕府に反対口上書を提出し、工事を拒否したのです。それはそうですよ。今まで平穏に米の収穫がある地域に川を掘られては、洪水の危険度が増すのですから。

そうした対立はあったものの、ようやく幕府の許可が出て1813年、まず一本橋から松戸宿（現在の赤坂）までの掘りつぎ工事が行われました。この時に坂を下るようにという願いを込めて「坂川」と名前を変えたそうです。

しかし願いはむなく、その後もたびたび下谷地区は水に浸かりました。

* * *

まだまだ続く「洪水との戦い」、続きは次回に。



■参考文献と写真提供：「下谷の歴史 干潟のゆくえ」（財新松戸郷土資料館）
■坂川の歴史については、新松戸郷土資料館（現在：閉館）の元館長、大井弘好さんからご教授いただきました。



流山兜 祥
思い出の食卓 正月はそこにお餅も…がめ煮の雑煮

「女王と女神」展 旧神倉プレゼント

新松戸まつり開催！ 7月19日(土)・20日(日)

新松戸まつり

暮らしの情報誌 (2014年7月1日421号)

月刊新松戸

本誌は読者様のご協力により発行しております